

第一コンサルタンツの概要

2022年版



総合建設コンサルタント

DAI-ICHI Consultants Co.Ltd.

ご挨拶

わが国では人口減少、地方の過疎化、社会インフラの老朽化が急速に進んでいます。そうした中で、温暖化による豪雨災害の激甚化・頻発化、南海トラフ地震や首都直下型地震など巨大地震の発生リスクが切迫しています。

豪雨や地震から国民の命・財産を守るためには、老朽化しつつある既存社会インフラの適切なメンテナンスや更新、暴風や津波・地震作用に耐えうる強靱化、災害シミュレーション予測と避難、高台移転などの事前復興に関する専門知識を持った技術者が、今後益々必要になってきます。

当社では土木工学に関わらず、理系文系さまざまな分野から、「国民の命・財産を守る」という高い志を持ち情熱がある人材を募集しています。

当社で 10 年間頑張れば、立派な技術者になり、仕事にやりがいを感じられるようになります。

希望に満ちた幸せな家庭を築き、充実した生活を送ることができます。

第一コンサルタンツの一員となって、私たちと一緒に働きましょう。



代表取締役社長 右城 猛

会社概要

設立 1963年11月29日

資本金 4,500万円

売上高 24億2千万円(2022年3月)

社員数 142名(2022年4月)

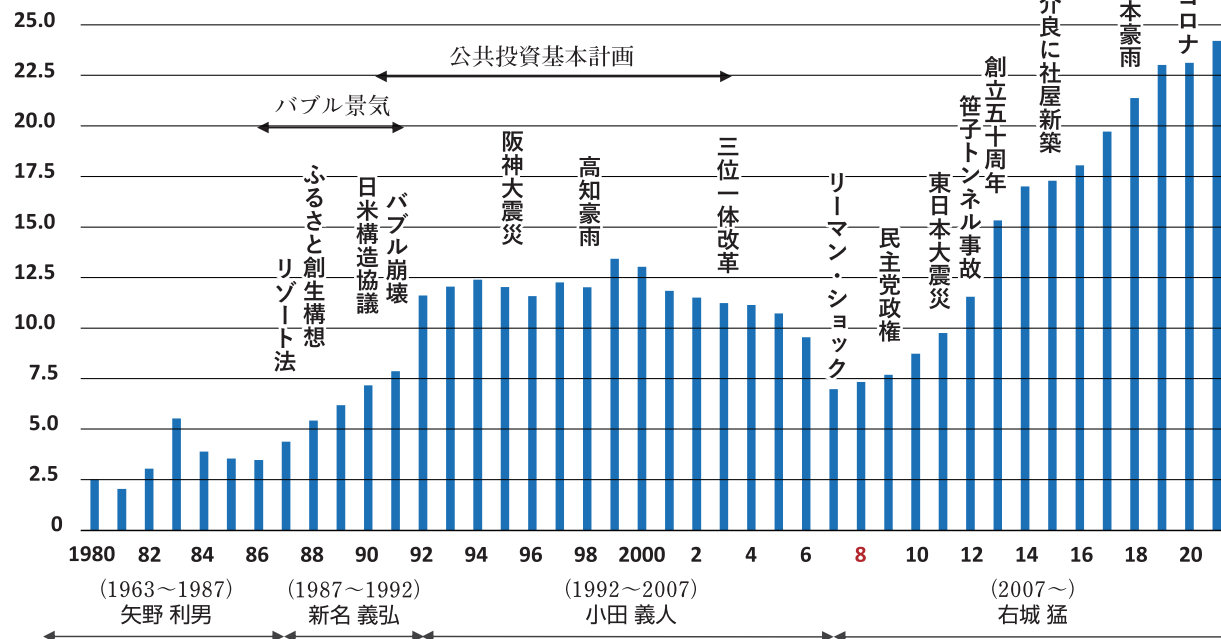
所在地 高知県高知市介良甲828番地1

登録業 建設コンサルタント、測量業、地質調査業、補償コンサルタント、一級建築士事務所



売上高の推移

売上高(億円)



経営理念

1. ミッション「日本を守る」

- ①日本のインフラを守る
- ②日本を自然災害から守る
- ③地域のコミュニティを守る

2. ビジョン「三方良し」

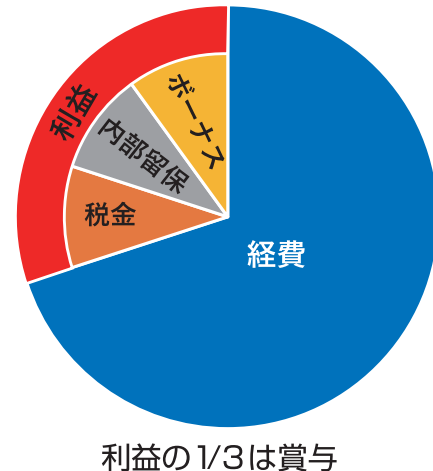
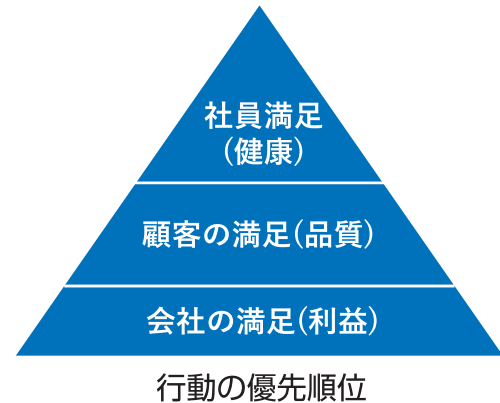
- ①社員が幸せを実感できる会社
- ②お客さんから信頼される会社
- ③地域の人々から愛される会社

3. 社訓(行動基準)

情熱、謙虚、誠実

4. 経営方針「会社は社員のもの」

- ①高い技術を身に付け、立派な人間に成長できる職場
- ②健康を最優先した経営
- ③ガラス張りのクリーンな経営
- ④利益の1/3は社員に賞与として還元



経営理念を社歌に

社歌「ガードレール」

作詞：河村泉兵衛 作曲：金子裕則

2015年放映のNHK大河ドラマ「花燃ゆ」
吉田松陰が「君の志は何ですか？」
僕の志はこの国をよくする事です」
と話す場面のフレーズを採用

君の志は何ですか？

それは、故郷を守る事

君の志は何ですか？

それは、家族を守る事

君の志は何ですか？

それは、暮らしを守る事

ボク達は貴方のガードレール

日々の暮らし守ります

故郷の山や川、

町の暮らしは今日も元気ですか？

明るい笑顔に笑い声、

活気あるエネルギーを感じますか？

大丈夫！心配しないで！

ボク達がついている！

明日はきっと、今日よりも、

夢と希望に満ちている

セーフティパーフェクト

第一コンサルタンツ



君の志は何ですか？

それは、この国を守る事

君の志は何ですか？

それは、災害から守る事

君の志は何ですか？

それは、生活基盤を守る事

ボク達は貴方のガードレール

日々の安全守ります

大いなる海原に、

緑の大地が、今日も元気はこぶ

澄み切った空に自由の風

希望に満ちたエネルギーを感じますか？

大丈夫！心配しないで！

ボク達がついている！

明日はきっと、今日よりも、

愛と平和に満ちている

セーフティパーフェクト

第一コンサルタンツ 第一コンサルタンツ

第一コンサルタンツの社員としての誇り

「国営讃岐まんのう公園リレーマラソン」に陸上部が毎年参加しており、社員が持ち込むリクエスト曲は、社歌「ガードレール」



【メッセージ】

リクエスト曲は、当社で毎朝流れている社歌です。この曲は、第一コンサルタンツの一員としての誇りや希望を感じさせてくれる当社のテーマソングです。本日は、会社の社訓であります情熱・謙虚・誠実の中の情熱を全面的に押しだし、全力で勝ちに行きます。

高橋祐也(陸上部)・作

日本の社会インフラを守るために こんな調査や設計をしています。



道路設計



橋梁設計



UAV(ドローン)による
三次元地形測量



橋梁点検調査



橋梁の耐震補強



マルチビームによる
水面下の三次元地形測量

日本を地震災害から守るために、 こんな調査をしています。

熊本地震による被害調査



東日本大震災による被害調査



日本を落石災害、交通事故から守るために、 こんな研究や技術開発をしています。



スレート片の落下実験



落石防護ネットの技術開発



落石防護柵の技術開発



岩塊の落下実験



車両用防護柵の研究開発

地域のコミュニティを守るために、 こんなことをしています。



介良野自治会と災害時避難所協定



介良野若宮八幡宮の神輿を担ぐ



介良野地区の田役



須崎市ドラゴンカヌー大会に協賛支援



四万十川ウルトラマラソンに協賛
支援するとともにボランティア
として参加。



県内の夏祭り、秋祭りなどのイ
ベントに協賛支援

社員が幸せを実感できる会社を目指すために、 雇用制度を改定しました。

2010年から「3年以上の契約社員は正社員」



西村研了
課長補佐

1997年アルバイト採用
13年目に正社員



片山佐恵
主任

2004年アルバイト採用
6年目に正社員

- ✓ 機会は平等にあり、能力に応じて昇進・昇格ができる組織。
- ✓ 経営は足し算、引き算ではない。社員が意気を感じてやる気になれば、信じられない力を発揮してくれる。
- ✓ 社員は家族、社員を守るのが会社の役割。

社員が幸せを実感できる会社を目指すために、 こんな取り組みをしています



社員の仕事風景



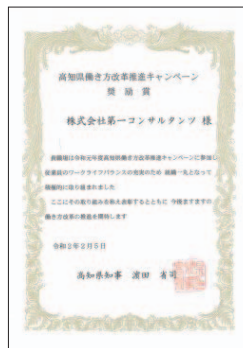
木曜日はランチミーティング



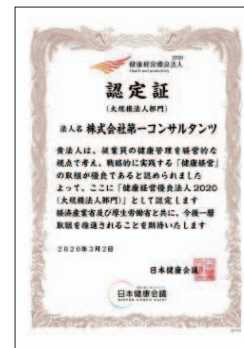
高知市男女共同参画推進企業表彰



「はばたく中小企業・小規模事業者300社
(高知県では2社選定)」に選定された
(2019年6月4日)



「高知県働き方改革推進
キャンペーン」奨励賞を
受賞(2月5日)



健康経営優良法人2020
(大規模法人部門)の認定
を受ける(3年連続)

社員が幸せを実感できる会社を目指すために、 会社創立記念日には社員と家族で祝います。

家族も一緒に創立55周年祝賀会。仕事に打ち込むことが出来るのは家族のお陰。



社員が幸せを実感できる会社を目指すために、社員とその家族で毎年、社員旅行をしています。

2018年創立55周年記念旅行 ヨーロッパ



第1班 イタリア



第2班 フランス



第3班 ドイツ

2019年社員旅行



第1班 沖縄



第2班 シンガポール



第3班 沖縄

**社員が幸せを実感できる会社を目指すため、
クラブ活動に力を入れています。**



第一コンサルタンツよさこいチーム



サッカー部



陸上部



野球部



サーフィン部

お客さんから信頼される会社を目指すために、 外部講師を招いてセミナーをしています。

社員を一流の技術者に育てるには、一流の研究者や技術者と常に接する機会をつくるのが大事（ノーベル医学・生理学賞 大村智博士）

年10回の頻度で「第一セミナー」を開催、その後は講師を囲んで食事をしながら歓談



東京大学 國島正彦名誉教授



東京大学 羽藤英二教授



東洋大学 大森文彦教授



城西大学 藤野陽三学長



京都大学 木村亮教授

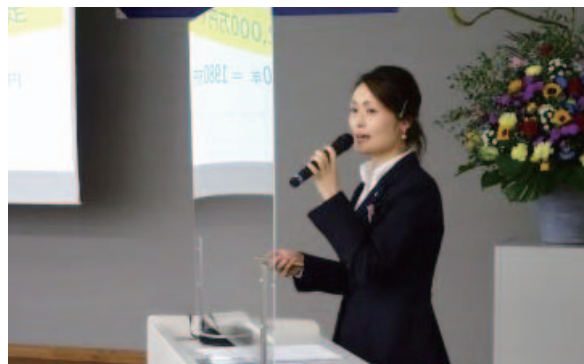


東京大学 全 邦釘特任准教授

**お客さんから信頼される会社を目指すために、
年1回社内研究発表会を開催しています。**



社員による研究発表



社員による研究発表



研究発表風景



懇親会で優秀発表者を表彰

**お客さんから信頼される会社を目指すために、
本社に地域防災拠点となる機能を持たせました。**



公共施設と同等の耐震強度を備えた社屋



1,000人分の飲料水を賄える防災井戸



3日間稼働する自家発電装置



衛星FAX



衛星電話

地域の人々から愛される会社を目指すために、 児童・生徒・学生の指導をしています。



介良潮見台小学校2年生に会社の仕事を説明



介良中学校3年1組へ出前授業



介良中学校で避難所運営の指導



高知大学、高知高専の学生に当社の仕事を説明

地域の人々から愛される会社を目指すために、
こんな地域貢献活動をしています。



高知県起震車に百万円寄附



高知市トイレトレーラーに百万円寄附



地域の人々から愛される会社を目指すために、 新型コロナウイルス感染症対策を応援しています。



高知県へ500万円寄附



高知市へ不織布マスク2万枚を寄贈



高知県産業教育振興会へ
100万円寄附



木曜日は応援ランチデー（会社がホテルや居酒屋などから弁当を購入して社員に配付）

ミャンマーのアマラワディ僧院に高等学校寄贈



第一コンサルタンツの主な年間定例行事



4月1日 入社式



5月 社員旅行



7月 経営方針発表会



9月 社内研究発表会



12月28日 忘年会



1月4日 土佐神社に初詣

右城猛社長が上梓した22冊の単行本



1986年



1989年



1970年



1990年(共著)



1998年



1998年



1999年



2000年



2000年



2000年(共著)



2004年



2005年



2006年



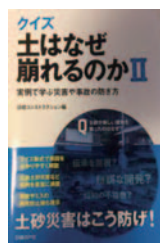
2006年(共著)



2009年(共著)



2013年



2014年(共著)



2014年



2015年(共著)



2020年



2020年



2020年



DAI-ICHI
Consultants Co. Ltd.